

派遣留学生帰国報告書

* 帰国(復学)後の情報を入力してください

記入日	2019/9/12
所属学部・ 研究科・学府	融合理工学府
所属学科・専攻	創成工学専攻デザインコース

1. 留学先について

留学先大学名	College for Creative Studies (US) / Ensci Les Ateliers							
留学先所属学部等	Integrated Design / Industrial Creation							
留学期間	出発日	2018/8/18	入学日	2018/8/18	修了日	2019/7/19	帰国日	2019/8/14
住居	<input checked="" type="checkbox"/> 大学(紹介)の寮・アパート	<input type="checkbox"/> 民間アパート	<input checked="" type="checkbox"/> その他(ホームステイ(フランス))					
	通学時間	20分ほど(フランス)					<input checked="" type="checkbox"/> On campus	
	通学方法	徒歩						
	居室スペース	個室	<input checked="" type="checkbox"/> (3) 人部屋	その他(ホームステイでは個室)				
	共有スペース	完全個室	キッチン	トイレ	バス	リビング	その他()	
食事	自炊	10 %	学食	90 %	外食	% その他 ()		
保険	海外旅行保険(名称)	東京海上日動海外旅行保険						
	派遣先大学指定の保険(名称)							<input type="checkbox"/> 強制加入
	その他							
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車)							
	成田 ⇄ デトロイト(飛行機) ⇄							

2. 留学にかかった費用について

総費用	1,500,000 円							
出どころ								
自費	貯金	円	アルバイト	円	その他	円		
援助	両親	円	家族・親戚	650,000 円	その他	円		
奨学金	JASSO	円	その他名称(トビタテ)	850,000 円				
その他	千葉大学助成金	円	その他()	円				

2-1. 財政管理の方法

渡航時	現金	20,000 円	その他 (クレジット)	円
留学中	海外送金	キャッシング	その他 (クレジット)	

2-2. 各費用の支払い方法

大学に払った費用	
住居にかかった費用	クレジットカードで
その他	

2-3. 内訳

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)			300,000	円
海外旅行保険			100,000	円
OSSMA			20,000	円
査証・在留許可証			40,000	円
住居		1500ドル(アメリカ)/月600ユーロ(フラン)	600,000	円
食費		1500ドル(アメリカ)/月約300ユーロ(フ)	400,000	円
通学に要する交通費			0	円
教科書、教材費	ドル	約200ドル	20,000	円
その他大学に支払った経費			0	円
光熱費			0	円
その他 (Simカード)	ユーロ	月約10ユーロ	20,000	円
その他 ()				円
その他 ()				円
その他 ()				円

3. 学業面

履修科目名	種類 ^{ex.正規、聴講}	単位数	単位互換認定申請の有無		
1 Design Graduate Studio I (US)	正規	3	有		無
2 Contextual Design Research (US)	正規	3	有		無
3 Data Visualization (US)	正規	3	有		無
4 Proffessional Development Studio I (US)	正規	3	有		無

5 Atelier SINDALL	正規	15 ECT		有		無
6 Workshop Dataviz	正規	3 ECTS		有		無
7 Culture Code	正規	3 ECTS		有		無
8 Atelier de graphisme	正規	3 ECTS		有		無
9 Studio graphisme et interactivite	正規	3 ECTS		有		無
10 Habilitation son	正規	3 ECTS		有		無

3-1. 授業科目の選択、登録方法

College for Creative Studiesではコースによって受講する授業はあらかじめ決まっています。

Ensci Les Ateliersでは留学生課の方と相談しながら受講する授業を選択していきます。ただし授業は全て抽選方式で決まるため(留学生も現地学生も)、必ずしも希望の授業が取れるとは限りません。

3-2. 授業内容、方法に関して

College for Creative Studiesではメインの授業はDesign Graduate Studio Iです。プロジェクト型の授業で、毎週教授に向けてのプロジェクト進捗の報告及びレビューがあります。またパートナー企業によるレビューも入るため、デザイン制作及びプレゼンテーションが授業の大部分を占めます。その他の授業に関してはStudioを行う際に必要なスキルを得られるよう設計されており、座学半分・制作半分といった構成になっています。

Ensci Les Ateliersの授業は全て制作が中心となっており、座学形式の授業はほとんどありません(授業始めに先生が簡単なレクチャーをする程度です)。基本的には制作したものを毎週レビューするという形で授業は進んでいきます。

3-3. 語学力について

英語に関しては留学前より日常会話程度は話せると思っていましたが、実際アメリカに行くと会話についていくのはとても大変でした。

フランスではフランス語が話せないため、授業では友達に翻訳してもらったり、英語の話せる先生には英語で説明をしてもらい乗り切ることができました。

3-4. 図書館など学内施設について

College for Creative Studies、Ensci Les Ateliers共に学内の工房施設があり、制作に関しては作れないものはないんじゃないかというほど設備が充実しています。

3-5. その他

デトロイト、パリともにあまり治安の良い街ではなかったため、夜間には一人で外出しない等の基本的な安全管理に注意しました。

4. 生活面

4-1. 住居について

アメリカでは3人部屋の寮でしたが、ルームメイトがあまり喋る方ではなく最初はコミュニケーションに苦労しました。

フランスではホームステイでしたが、家族の方がとてもやさしくしてくださり、時々一緒に夕食を食べたり、マルシェへ一緒に買い物に行ったりと楽しく生活することができました。

4-2. 食生活について

アメリカでは食事は全て学食でとりました。ハンバーガーなどカロリーの高めの食べ物も多いですが、サラダバーなどもあり、バランスのとれた食事をとることができます。

フランスでは学校の近くのパン屋さんでサンドイッチを購入し、それを昼食にしていました(Ensciの学生は割引を受けられるため、多くの学生が利用しています)。夕食はパスタなど簡単なもので済ませていました。

4-3. インターネット環境、携帯電話について

アメリカ、フランスともに、いわゆる格安SimといわれるSimカードを購入し使っていました。学内ではWifiがあるため、インターネットには困りませんでした。

4-4. 服装について

Tシャツやシャツにジーンズとカジュアルな服装で過ごしていました。ただアメリカではパートナー企業へのプレゼンテーションの時はフォーマルな服装が求められたので、そういったものも持っているといざという時に助かります。

4-5. 健康管理について

特に病気にはなりませんでした。

4-6. 保険、OSSMAの利用について

特に利用することはなかったです。

4-7. 課外活動について

部活動などはしていませんでした。

4-8. 学外のコミュニティとの交流について

アメリカでは授業で、デトロイトの地元市民をインタビューする必要があったため、学生グループで地元の市民団体に訪問をするという交流がありました。

フランスでは現地の友人の誘いでソルボンヌ大学の環境啓蒙イベントへ参加し、そこでパリの他大学の学生との交流がありました。

4-9. 日本から持参してよかったもの

大きめのバックパック(小旅行の際スーツケースをもってまわるよりも楽で便利だった)

4-10. 日本から持参したが不要だったもの

カメラの三脚(大学で貸し出しており不要だった)

4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

アメリカ: スモールトークがとても多い。全く知らない人でもエレベーターで一緒になると話しかけられたりする。デトロイトはあまり治安が良いとはいえずホームレスの人も多いが、彼らとは絶対に目を合わせないようにと大学でレクチャーがあった。アイコンタクトをとると言う行為は相手から何かを欲しているというサインになってしまうというのが理由であった。

フランス: 挨拶がとても大事。お店に入るときでも挨拶をしないと嫌な顔をされることが多い。友人を家に招いて食事をとることは日本よりも頻繁に行われていると感じた。

4-12. 余暇の過ごし方

旅行

【イタリア・ミラノ(観光)】2019年6月(3日間)、約2万円

【オランダ・アムステルダム&デンマーク・コペンハーゲン&フィンランド・ヘルシンキ&チェコ・プラハ&オーストリア・ウィーン&ドイツ・ベルリン・デュッセルドルフ&スイス・チューリッヒ・ジュネーブ(観光)】2019年7月(14日間)、約9万円

その他 * 気分転換やストレス発散法など。

パリは街並みが綺麗で公園も点在しているので、気分転換には市内を散策していました。

5. その他

5-1. 留学先大学について

アメリカ College for Creative Studies

デトロイトにある美術大学です。キャンパスは2つありファインアート系、デザイン系でキャンパスが分かれています。カーデザインや工業デザインに強みがあり、またエンターテイメントアートというアニメーションやコンセプトデザインを学べる学科があることも特徴の一つです。

フランス Ensci Les Ateliers

工業デザインとテキスタイルデザインを学ぶことのできる学校です。1階部分は全て工房となっており、工房には常に技術担当の先生が常駐しています。そのため設計図をもっていくといつでも相談ができ、ほとんどなんでも作れてしまいます。

5-2. 留学希望者へのアドバイス

言葉についていけない時でも、挨拶だけはちゃんとしていれば優しく接してくれるひとは必ず現れると思います。

5-3. 留学を終えて

アメリカ・欧州の2カ国で留学するCODEプログラムに参加させてもらうことができ、本当に感謝しています。今まで欧米と一括りに捉えていましたが、フランス人・アメリカ人の気質や姿勢の違いを目の当たりにし、異文化のバックグラウンドをもつ者同士が理解し合うことの難しさを改めて認識しました。

帰国したばかりの今は自分のどこがどれくらい成長したのか実感があまりありませんが、一年間海外で学び、生活し意外と海外でもやっていけるんだ、という自信はついたと思います。

今後はこの留学を振り返り、自分が学んだことを考えながら、それを生かすことのできる場所で働くことができるよう頑張りたいと思っています。